

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	オニキ・ユウジ		
NAME	Yuji Oniki		

## 1. 研究課題

（和文）異文化論の問題性ーボアズからモースへ

（英文）Problematics in Theorizing the Other: From Boas to Mauss

## 2. 研究期間

1年間（2021年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

3年前からアメリカの戦後小説における時間性に焦点を合わせ始め、2020年から小説と映画に伴い、同年度から戦後アメリカの音楽を研究、南部のポピュラー音楽のアーティストであり、カントリーミュージックを通して、戦後におけるジェンダー関係の移行を捉える歌や歌詞を分析した。ノアール小説と同じように「犯罪」を描く Johnny Cash や Waylon Jennings を通してアウトローカントリーというジャンルや、戦後アメリカにおけるアウトサイダーのアイデンティティを追求し、戦後アメリカの合理化に伴う「反時間性」のテーマを研究した。また、テネシー州で活動しているミュージシャンとの交流を通し、現代カントリーの政治性やアイデンティティのテーマに沿って、インタビューを行った。最後に、アウトローと南部の関係性を通して、コーマック・マッカーシーの『ボーダートリロジー』を参考文献として扱い、日本近代とアメリカ金塊の開拓性における類似性を分析した。（『紀要』130号で経過中の研究内容が発表されましたが、データベースにアクセスできないため、登録されておられません。）

（英文）

Three years ago, I began to focus on temporality in American postwar fiction, and in 2020, along with novels and films, I began to study postwar American music the same year, in particular, Southern popular music artists and country music. I examined songs and lyrics of the outlaw country genre to analyze the identity of outsiders in postwar America and framed their sense of "anti-temporality" within the context of the mechanization of postwar American society. With regard to the relationship between outlaws and the South, I also examined Cormac McCarthy's *Border Trilogy* and expanded upon my analysis of the intertextual relationship between modern Japanese modern literature and the western novel.